

ほっ スピタル・かいづか ③外科

今年の7月から、新たに消化器外科の専門医を2人加え、消化器外科の医療体制を強化しました。消化器外科では、食べ物の消化や吸収に関係する臓器(食道・胃・大腸・肝臓・胆のう・すい臓など)の診断・手術治療を行います。

副院長・主任外科部長として赴任した辻仲利政医師は今年度の日本胃癌学会会長を務めました。今後は、地域のみなさんに消化器外科で国内トップレベルの専門的診療を提供できるようになりました。

この数カ月の間でも、すでに手術の方法・内容や安全性を改善しました。これまでの開腹手術に加えて、痛みの少ない内視鏡外科手術数が増加し、また、難易度の高い手術も、大阪市内の病院ではなく、貝塚病院で対応できるようになりました。

外科では、患者さんに様々な角度からできるだけ多くの情報を提供したいと考えています。治療の内容・根拠をご理解頂くことによって、最新の医療も安心して受けて頂くことができるものと考えています。

「患者さんがいて医療がある。患者さんベースの医療とは何か」を合言葉に患者さんのメリットを第一に考えて診療にあたっています。(外科部長 安井昌義)

問合せ先 貝塚病院医事課 ☎438-5829

